

一般社団法人日本解剖学会 2026(令和8)年度第1回常務理事会議事録

日 時：2026(令和8)年2月14日(土) 13:00～16:30

場 所：一般財団法人口腔保健協会（3階302会議室）

出席者：仲嶋 一範（理事長）、池上 浩司、大和田 祐二、堀 修、宮田 卓樹（以上、常務理事）
岡部 正隆、竹林 浩秀、日置 寛之（以上、常任幹事）、伊藤 杏佳、中村 聡（以上、口腔保健協会）

欠席者：なし

I. 理事長 挨拶

仲嶋理事長から挨拶があった。

II. 会議記録の確認

以下の会議記録が確認された。

(1) 2025(令和7)年度第6回常務理事会（2025(令和7)年11月29日開催）記録（案）

(2) 2025(令和7)年度第8回理事会（2025(令和7)年11月29日開催）議事録（案）

III. 報告事項

1. 庶務報告

(1) 会員異動報告

資料に基づき、以下の通り報告があった。

・令和7年11月分

入会者：正会員 3名、学生 3名

退会者：正会員 4名、学生 3名

・令和7年12月分

入会者：正会員 3名、学生 2名

退会者：正会員 22名、学生 2名、団体会員 2名

・逝去会員

三木 明德 氏（神戸大・名誉教授／永年会員）令和8年1月2日逝去

・新規就任教授

辻岡 洋 氏（福島県立医大・神経解剖・発生学）令和7年8月1日就任

粟屋 智就 氏（大阪公立大・医・機能細胞形態学・解剖学第一）令和8年1月1日就任

(2) 学会宛文書類について

資料に基づき、以下の通り到着した文書の報告があった。

通知・依頼：生物科学学会連合より「「高等学校の生物教育における重要用語の選定について(2025年版)」が発出されました」他36件

書籍・定期通信 他：日本学士院より「日本学士院ニュースレター No.36」 他9件

(3) 年会費納入状況について（長期未納者の除名について）

資料に基づき、3年間未納者（31名）について報告された。除名手続きを行う前に、支部長を中心に未納者に対して、納入について声かけを行うこととなった。

(4) 各種委員会報告について

資料に基づき、2025（令和7）年度における各委員会の活動内容が報告された。

(5) 2026(令和8)年度定時社員総会の資料作成について

資料に基づき、作成状況が報告された。

(6) 2026(令和8)年度定時社員総会の案内と書面表決状について

資料に基づき、案内状と書面表決状の内容について、報告された。

- (7) 支部代議員会報告（中部・九州支部）
資料に基づき、以下の支部代議員会の議事録が報告された。
 - ・第85回中部支部学術集会 代議員会（2025年10月11日開催）
 - ・第81回九州支部学術集会 代議員会（2025年10月18日開催）
- (8) 男女共同参画学協会連絡会報告
資料に基づき、男女共同参画学協会連絡会 第22期定時総会と第1回運営委員会（2025年12月8日開催）の議事録が報告された。
- (9) 若手研究者の会報告
資料に基づき、2026年「春の学校 若手と学生の研究交流会」概要について、報告された。
- (10) その他
特になし。

2. 編集報告

- (1) 解剖学雑誌及びASI刊行報告及び刊行予定
資料に基づき、2026年1月にASI Vol.101 No.1が刊行され、冊子100部が納品されたことが報告された。また、2026年3月にASI Vol.101 No.2および解剖学雑誌101巻1号が刊行予定であることも報告された。
- (2) 2025(令和7)年度学会ホームページアクセス解析報告
資料に基づき、年間アクセス数やページ毎の閲覧回数の増減など、解析結果が報告された。
- (3) その他
特になし。

3. 企画・渉外報告

- (1) 2026(令和8)年度第131回総会・全国学術集会準備状況について
資料に基づき、第131回総会・全国学術集会準備状況について報告があった。特別講演（4演題/全5演題）、市民公開講座（3演題/全4演題）については録画して配信予定であることが報告された。
- (2) 2027(令和9)年度第132回総会・全国学術集会準備状況について
資料に基づき、第132回総会・全国学術集会およびAPICA 2027の準備状況について報告があった。APICAについては、約1年前なので、各国の代表者に声かけを始める時期であるとの意見があった。
- (3) 認定二級技術者審査結果について
資料に基づき、1名の申請があり合格と判断されたことが報告された。
- (4) 日本医学会・日本医学会連合報告
資料に基づき、第93回日本医学会定例評議会（2026年2月25日）に大和田 祐二 常務理事、第14回日本医学会雑誌編集者会議（2026年3月5日）に大島 勇人 氏、2025年度日本医学会連合臨時総会（2026年2月25日）に大和田 祐二 常務理事が参加予定であること、また、2025年度日本医学会連合加盟学会連絡協議会（2026年1月29日）に大和田 祐二 常務理事が出席したことが報告された。
- (5) 生物科学学会連合報告
資料に基づき、第32回定例会議（2025年12月23日）に大和田 祐二 常務理事が出席したこと、また、その内容について報告された。
 - ・研究費・人材育成委員会について、科研費の増額が認められた。

- ・国立沖縄自然史博物館の設立活動の現状。
- ・次期高等学校学習指導要領の改訂に伴う「生物基礎」「生物」に関する提言について。

- (6) 日本脳科学関連学会連合報告
資料に基づき、第34回評議員会（2026年3月14日）に、仲嶋 一範 理事長、大和田 祐二 常務理事、堀 修 常務理事が出席予定であることが報告された。
- (7) 国際渉外関係について（KAA、APICA、IFAA）
資料に基づき、以下のことが報告された。
 - ・KAA については、2025年10月にJAAから2名（孫 在隣 氏、井原 大 氏）を派遣した。2026年には、KAAから3名を招聘する予定であり、JAAからは4名発表予定である（2026年3月25日）。
 - ・APICA 2027（岡山）に向けて準備を進めている。
 - ・IFAA 2026はメルボルンで開催であり、すでに日本から参加登録した方もおられる。IFAAとInternational Symposium for Morphological Sciences (ISMS)については、引き続き情報収集を進める方針が確認された。
- (8) 日本外科学会CST推進委員会報告
資料に基づき、令和7年度第3回CST推進委員会（2025年12月22日開催）および第4回CST推進委員会（2025年1月14日開催）の内容について報告された。
- (9) その他
特になし。

4. 会計報告

- (1) 2025(令和7)年度支部学術集会収支報告について（近畿・中国四国・九州支部）
資料に基づき、近畿支部、中四四国支部、九州支部からの支部学術集会の収支について報告された。
- (2) 2025(令和7)年度決算書概要(案)について
資料に基づき、2025年度の収支決算が報告された。ASIの契約変更により、ロイヤリティが次年度に入る予定となっているため、2025年度の会誌等頒布収入が当初予算を大きく下回っていることについて説明された。
- (3) 賞・研究費候補者選考委員会報告、ならびに2026(令和8)年度奨励賞募集概要について
資料に基づき、奨励賞には、尾之内 佐和 氏、長坂 新 氏、中里 亮太 氏の3名を選出したこと、また、第5回日本医学会連合 **Rising Star** リトリートには、杉崎 綾奈 氏、山本 将仁 氏の2名を選出したことが報告された。
- (4) その他
特になし。

5. 理事長報告

- (1) CST事業の法人設立準備委員会報告
資料に基づき、一般社団法人日本CST監理・支援機構の定款などについての報告があった。
- (2) 関東、近畿支部理事欠員補充について
資料に基づき、関東支部の 岡部 繁男 理事、近畿支部の島田 昌一 理事の永年会員推挙候補者で理事退任予定であることに伴い、阿部 伸一 氏（関東支部）、および原田 彰宏 氏（近畿支部）の理事就任を要請することが報告された。
- (3) その他
特になし。

IV. 審議事項

1. 教授就任による代議員について

資料に基づき、辻岡 洋 氏（福島県立医科大学）と栗屋 智就 氏（大阪公立大学）の代議員申請が承認された。

2. 永年会員の推薦について

資料に基づき、希望する会員（6名）の永年会員への推薦が承認された。

3. 休会申請について

資料に基づき、出産や育児による休会申請1件、その他会員としても活動が行えないための休会申請2件が承認された。

4. 会員名簿ワーキンググループについて

本ワーキンググループの活動目的は、会員名簿の活用方法について幅広い意見を収集し、利用価値の高い名簿作成に向けた検討を行うことにあることが確認された。メンバーの候補について議論が行われた。特に、20代および30代の若手研究者の意見を広く反映させるため、若手研究者の会を通じて意見を集約していく方針が確認された。

5. 申請による代議員申請書様式について

代議員選出規定に関し、前回の常務理事会と理事会において代議員申請書様式の見直しの必要性等について議論が行われた。これを受け、代議員申請書様式（案）が提案され、新たに「4. 解剖学に関連した教育歴」および「6. 特記事項（任意）」の項目を任意項目として追加することが示された。また、申請書の余白に、「代議員選出規程申し合わせ」より規程の一部を抜粋して記載する案が提案され、承認された。

6. 代議員推薦書について

資料に基づき、「解剖学会入会に関する申し合わせ」および「オンライン入会手続用代議員推薦用紙」が承認された。

7. 2026(令和8)年度奨励賞選考委員選任について

小池 正人 氏（順天堂大）、伊藤 哲史 氏（富山大）、倉岡 晃夫 氏（佐賀大）、植木 孝俊 氏（名古屋大）、石津 綾子 氏（東京女子医大）、榎本 秀樹 氏（神戸大）が2期目の選考委員を勤めることが承認された。また、次年度委員長候補者として小池 正人 氏が選任され、同氏より新たに6名の選考委員候補者の推薦を受けることについても承認された。

8. 2026(令和8)年度予算(案)について

2025年度に比較して、全国学術集会に関わる収入・支出が約500万円増加すること、またASI誌の電子化に伴い、製作・編集・発送費が約500万円減少することが報告された。名簿作成積立金については、予定どおり本会計からの繰入金（令和8年度分：20万円）が積み立てることが確認された。特別事業積立金の予算案については、東京開催という事情を考慮し、学術集会託児費用として追加で50万円を計上し、若手育成支援として計150万円を計上することが承認された。

9. HPリニューアルワーキンググループについて

本ワーキンググループの目的は、アウトリーチ委員会のようにHPリニューアルに係る具体的な作業や手続きを担うことではなく、分かりやすいホームページの作成に向けた意見を会員から幅広く収集してHPリニューアルに生かすことにあると確認された。そのため、若手研究者数名を加えたワーキンググループを設置し、幅広い世代の意見を集約しながら改訂を進めていくこととした。

10. 「ご遺体受け入れ時のご遺族の承諾等」に関するマニュアル案

近年、独居高齢者や身寄りのない高齢者の増加を背景として、献体受け入れ時におけるご遺族の同意確認方法をはじめとする大学側の対応手順について、整理の必要性が指摘されている。これを踏まえ、日本解剖学会として、篤志解剖全国連合会と連携しつつ、一定の基本的指針を

策定する必要性について、前回の理事会において議論が行われた。それを受け、マニュアル整備に関する議論が行われた。ご遺族がおられない場合の対応については、献体される側に向けた視点で日本篤志献体協会のマニュアルが分かりやすく参考になるとの意見で一致した。日本解剖学会としては、詳細なマニュアルを策定するのではなく、献体を受け入れる側の視点で骨子となる考え方を示すことで、各大学がそれぞれの事情に応じて弾力的に運用できる指針を整備すべきであるとの認識が共有された。

11. 献体されたご遺体を用いた分子解析について

近年、献体されたご遺体を用いた分子レベルの研究に対する関心が高まりつつあり、今後その要望が増加する可能性が指摘されている。このような状況を踏まえ、当該研究の在り方について、学会として基本的な考え方を整理する必要性が議論された。その対応として、「献体遺体を用いた分子レベルの研究に関するワーキンググループ」を設置することが承認された。本ワーキンググループは、献体遺体を分子レベルの研究に使用することの可否、ならびに使用を認める場合に満たすべき条件等について、多角的な観点から検討を行い、基本的な考え方を整理することを目的とする。将来的には、必要に応じてガイドラインの策定に進むことも視野に入れる。構成員は、堀 修 常務理事（座長）、渡辺 雅彦 氏（北海道大学）、寺田 純雄 氏（東京科学大学）、尾崎 紀之 氏（金沢大学）、大和田 祐二 常任理事（東北大学）、竹林 浩秀 常任幹事（京都大学）とする。

12. 特別会計について

資料に基づき、特別会計の取扱いについて説明がなされた。特別会計制度は平成20年改正の公益法人会計基準において廃止されている。当法人ではこれまで、名簿作成積立金および特別事業積立金について収支決算報告書として別途決算報告を行ってきたが、今後は廃止することが確認された。なお、当法人の決算書は既に平成20年改正基準を採用しており、名簿作成積立金や特別事業積立金は特定資産として適切に処理されてきたことが説明された。特定資産とすることで、使途が限定されることもあわせて確認された。

13. 日本外科学定期学術集会以での講演について

2026年4月25日に札幌で開催される第126回日本外科学会定期学術集会・CST推進委員会主催シンポジウムでの講演依頼があり、本学会から大和田祐二常務理事が講演することが承認された。

14. 次回常務理事会・理事会・支部長会・各種委員会の日程・議事について

資料に基づき、2026年3月の全国学術集会時の役員会および委員会の開催日時について確認された。

今後の理事会日程について

3月23日(月) 17:00~19:00 ミーティングスペースAP浜松町Oルーム

11月28日(土) 14:00~17:00 AP新橋 (予定)

今後の常務理事会日程について

3月23日(月) 12:00~13:50 ミーティングスペースAP浜松町Oルーム

6月27日(土) 13:00~16:00 口腔保健協会 302会議室

10月10日(土) 13:00~16:00 口腔保健協会 302会議室 ※AM 一級技術者試験実施

11月28日(土) 11:00~13:30 AP新橋 (予定)